

富津市地球温暖化防止実行計画 2019 年度実施状況

本温暖化防止実行計画は 5 年間に渡る計画で基準年と比較して年 1 パーセントの二酸化炭素排出量削減を推進して最終年度で 5 パーセントの削減を目標としてスタートしました。

1 年を経過して、年目標の 1 パーセントをクリアすることはできませんでしたが次の通り比較、検証してみます。

1 二酸化炭素総排出量の比較

市施設における 2019 年度温室効果ガス総排出量は、基準年度（2013 年度）と比較して僅かですが 0.23%減少しました。

	排出量 (kg-CO ₂)	増減率
基準年度 (2013 年度)	1,633,413 kg-CO ₂	
算定年度 (2019 年度)	1,629,629 kg-CO ₂	△0.23%

2 電気・エネルギー使用量の比較

令和元年度のエネルギーの使用量は、基準年度と比較すると以下のとおりとなりました。

電気及び都市ガス使用量が 2%と 0.5%の微増、軽油使用量は 16%増加しました。

軽油については、主に環境センターの場内車両及び収集車の燃料であり、9 月以降の風水害により発生した災害廃棄物の収集運搬等が影響していると考えられます。

一方、ガソリン使用量は 33%も激減し、灯油及び液化石油ガス（プロパンガス）の使用量も 8%減少しています。

ガソリンの減少については、一人ひとりが本計画の具体的な取組みを理解、実践した成果と考えていますがそれ以上に大きいのは、2013 年度の基準年度以降、公用車の入替え時に 35 台の低燃費車を導入した成果が最も大きな影響を与えたと考えています。

また、表中最下段の A 重油は計画には入っていませんが本庁及び防災センターの停電時の非常用電源の燃料が A 重油のため、計画に繰り入れました。

活動の種類	基準年度 (2013)	算定年度 (2019)	増減量	増減率 (%)
電気使用量 (千 kwh)	2,459.110	2,511.833	52.7	2.14
灯油使用量 (k l)	69.4	63.8	△5.6	△8.07
ガソリン使用量 (l)	45,701.00	30,569.24	△15,131.76	△33.11
都市ガス使用量 (千 m ³)	12.931	13.000	0.069	0.53
軽油使用量 (l)	8,908.40	10,361.76	1,453.36	16.31
液化石油ガス (LPG) 使用量 (千 m ³)	3.951	3.629	△0.322	△8.15
A重油 (k l)	0.0	1.501	1.501	—

3 二酸化炭素総排出量 0.23%減少の主な理由

【基準年度と比較して減少した要因】

- ・省エネルギーの取組による燃料使用量の減少
- ・低燃費車の導入、エコドライブの実践による公用車燃料使用量の減少

4 まとめ

電気使用量については、昨年の9月の災害時の停電期間等を考慮すると減少していると考えていましたが結果は、上記表中にもあるように52.7千kwh増加に転じていました。

増加要因を分析してみると本庁の使用量が基準年度と比較して97.5千kwhの増加、前年度の2018年度と比較しても41.6kwh増加しています。

別紙、「年度別本庁電気使用量比較」でわかるように4月から8月の間も他の年度と比較して多めに推移しているが9月、10月の使用量は異常に多いことが見受けられます。

9月については3日間の停電があったにもかかわらず増加しています。

残暑が厳しかったことも考えられますが、災害対応に係わる時間の増加により、電気使用量が増加し、年間使用量を押し上げ、結果的に年間目標の1%の削減に届かなかったと考えられます。

残りの4年間、ハード面での大きな変更がなければ削減は望めず、環境基本計画と併せ、エコ運転、節電等一つひとつの行動、一人ひとりの自覚が目標達

成には欠かすことが出来ません。

安心・安全で風水害のない街づくりのためにもこれからもよろしくお願ひ致します。